

# 流域に目を向ける・呼び込む・活動を支える プラットフォーム「カワサポ」

一般社団法人 ClearWaterProject 代表理事 瀬川 貴之

## 1. はじめに

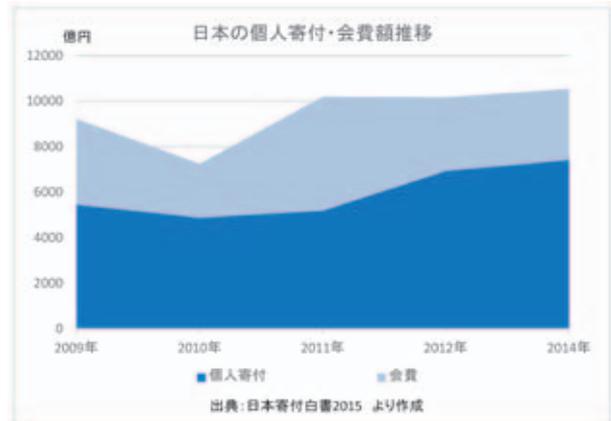
私個人はサーフィンをやっております、名古屋在住なので愛知県南に位置する渥美半島にも行ったりしますが、個人の感想ですが今でもまだ海があまりきれいでなくボードに浮かんでいると気持ちよくないな、と。海が汚れているのは川から流れ込む水の汚れなので、その川全て変えていかないとこの海も良くならない、というところから、ITシステムコンサルタントの前職を辞して一転、社団を立ち上げ、今に至ります。

これは「流域」の感じ方の一つだと思いますが、要するに関わる上流すべての結果がその下に影響しており、影響力の大小はありつつも関わる場所すべてが改善の対象になりうる、ということです。そんな「流域」を良くする団体（NPO・企業・行政問わず）を集めて支援するネット上の仕組みとして『カワサポ』を開発しました。以下背景や概要、実績等をご紹介します。

## 2. 取り巻く環境と課題

一般社団法人 ClearWaterProject（以下 CWP）は「子供達が目を輝かせて飛び込んでいくような水辺を未来の世代に」を掲げ、今まで流域でモニタリング/情報共有する『AQMAP（アクマップ）』や川ファンが集う『川遊びマップ』等のサービスを展開してきていますが、その活動の中で、「基盤収入がなく持続的な活動が出来ない」「活動を続けていくと来る人が固定化されてくる」「どういう団体がいるか情報が一般の目に触れる場所になく、新参者がアクセス出来ない」「やりたいことはあるが、人もお金も足りない」という人・お金・広報の点で様々に課題があることを感じました。また、自身の経営者としての経験からも、余分なお金が無ければ自由に行動できる時間を取れず、新しいこと・事業を伸ばしていくリソースを振り分けることが出来ないことを実感しています。

一方でビジネスになかなか出来ないため NPO や行政が関わる分野であるわけで、そのためどうしても業務委託や補助金、もしくは他分野で稼いで活動する（平日サラリーマンで休日活動している人も同じ）という形になります。ただ、最近の傾向として寄付金集める手法も注目されるように



なってきました。

日本人の寄付文化は欧米と比べると非常に少ないのが現状で、2014年アメリカ寄付総額は約27.3兆円、イギリス1.8兆円、日本は個人寄付及び寄付の意味合いの強い会費を含め総額1兆538億円（『寄付白書2015』より）。ただ2011年大震災以降日本の個人寄付は大きく伸びており、寄付+会費全体としても伸びています。また、「善意の資金（寄付から社会的投資まで含みます）10兆円時代の実現」を目指す日本ファンデレイジング協会が立ち上げられたり、ネットを通じた新たな寄付手法が確立してきたりと、市民の自主性による活動に資金も集まりやすくなってきています。時代背景として、行政予算・行動範囲が限られてくる中、一通り物質的に満たされた日本で、経済的な先行きへの不安と、自身の収入が自動的に伸びていく時代の終焉を感じている層のお金の使い方の変遷があり、長期的なトレンドになるものと予想されます。

ただし、「水辺」を含む環境分野は人を直接対象にしていないため感情的な共感を呼びにくく、すぐに変化が見えてくるものではないため自分事として感じてもらうのも難しく、多くの方に必要性を認知してもらうのが非常に難しい分野です。（自然・環境保全の寄付額は2012年に136億円「寄付白書2015」より）。そして、特に環境NPOは、元手となる資金・人的リソース自体が少ないことが他分野に比べても多く、自分たちの活動が社会にとって必要であることを説明することや一般の方に自分事に落としていくためのコミュニケーション技術が苦手とする団体が多いようにも感じられます。

今後の人口減、行政収入減少が予測され行政が出来ることも今まで以上に制限される中で、今まで以上に自分達の環境は自分達で変えていく体制づくりが重要になってきます。

流域圏の問題は関係する山、川、街、湖や海全ての生活環境が重なり合った結果のため、幅広く流域全体の環境を再構築していく必要があり、その促進のための仕組みが多様に必要だと考えます。

### 3. 『カワサポ』とは

そういった寄付集めとその手法を、流域改善に役立てるサービスとして『カワサポ』を作りました。『カワサポ』は日本全国の流域活動団体の活動展開を支援するための仕組みです。主にその手段として、ネットを通して支援金(=寄付)を調達できる仕組みを提供します。

流域に資する団体を支援するサービスとして、  
①持続的に活動出来る人・お金のリソースを集める  
②ネットで支援を求めたことが無い団体でも二人三脚のサポート  
③リアルとネット両方からのアプローチツールの提供  
といった軸を持たせています。

大きく「団体」「プロジェクト」2つの概念があり、まず面談含めた選考により流域に資する活動者としてカワサポの「団体」登録し、その登録団体のみが「プロジェクト」を立ち上げ資金調達を行います。

「プロジェクト」は現在急激に広まってきている「クラウドファンディング」と呼ばれるネットを通じた資金調達の手法の一つで、支援募集期限あり、期限内に自身で決めた目標額を達成出来たときのみ集めたお金が決済され支払われる、という仕組みです。支援者には御礼にありがとうギフトを送られます。ふるさと納税の市民版に近い仕組みです。(但し基本税額控除はありません)。

「団体」の画面には、月〇円、と継続支援が出来るようになっていきます。この継続支援(マンスリーサポーター等とも呼ばれています)の制度は、例えば認定NPO法人かものはしプロジェクトが有名ですが、支援者にとっては月500円や1000円なので昼食1,2回分程度で負担感少なく、団体にとっては用途限定されない基盤収入になります。

「プロジェクト」で認知し広げ、関係を増やし、「団体」に継続的なサポーターになってもらう、というための仕組みです。

これらの機能をご利用いただき資金を集める「無料」です。実際に支援が集まれば、その支援額より一部運営手数料(=決済手数料+弊社事務手数料

料)を頂く成果報酬型で、CWPがインフラとしての費用を負担し、団体の成長とCWPの成長を一致させられるようにするためです。

### 4. 実績と分析

カワサポは昨年実験的な取組にて、3プロジェクト合計74万円の資金集めを達成しており、その中で愛知県扶桑町の「生きもの探検部」が10万、30万と2回クラウドファンディングを成功させています。顧問をしている宮田賢輔氏は35歳、JRRNから発行している「できることからはじめよう水辺の小さな自然再生事例集」の愛知県五条川でも事例として登場しています。支援頂いた方の8割ほどが宮田氏の直接の繋がりがその知り合いで、多くは生きもの探検部として活動していた親御さんからの共感支援でした。他2割は主にfacebookといったネットを通してプロジェクトを知った方で、活動地域に何らかの繋がりがあつた方でした。他プロジェクトも同様の傾向で、これは地域単位の行政が主体のふるさと納税でも同じ傾向がでています。ふるさと納税を主題にした地域性の寄付に関しては、下記が非常に詳細で分かりやすく、傾向を掴めるかと思しますのでご検索下さい。pdfファイルで公開されています。

「地方自治体のふるさと納税の成功要因～北海道東川町のケース分析～(保田 隆明(ほうだ たかあき) 昭和女子大学准教授)」

ネット上で大きく資金を集めるプロジェクトは猫や食など趣味性が合う、世の中にないモノがいち早く自分にリターンとして返ってくる、といった自己利益に繋がるタイプで、分けて考える必要はあると感じます。

そうなるに成功時の手数料を払ってまでネットであえて募集する意義があるのか、という話はあ



カワサポのプロジェクト例

るかと思いますが、①クロージング効果 ②自分たちの活動を訴えるきっかけを作る ③今までに知らせていなかった方との繋がりが出来る、といった点で重要だと考えます。①は「クラウドファンディング」として普及した理由でもあります。期限が決まり、目標額を1円でも達成しなければ支援金が入らない、となると、プロジェクトを出す人もその期限までに必死に集めるようになりますし、一般の支援者側もあと数日で残り20%なら自分のお金も出してあげよう、という気持ちが出てきます。営業のクロージングと呼ばれるフェーズと同様で、お金をいざ支払って貰う、というための仕組みはあるとより集めやすくなります。②に関してはどうしても固定化された人々向けにだとあえて言うまでも、ということでは意義・想いを伝える機会を失いがちです。しかしやはりそこにこそ共感して集まってくる人が居るのも確かです。そしてネットによって、②から③に繋がり、支援にも繋がります。ただここでお金を出してくれた人だけが支援者だけでなく、シェアしてくれた人やいいな、と思ってくれた人も広義の支援者であり、その後報告を出していったりイベントに参加してもらうことで、いずれ人やお金を出して頂ける支援者に変わっていく可能性があります。

## 5. その他仕組み

また、昨年12月に利用者のフィードバックを元にリニューアルし、様々なことが出来るようになっています。

- ・自分の住んでいる場所から関連流域を探し、そこに関わる団体を見つけることが出来ます (図：カワサポの流域図)
- ・クレジットカードを使いたくない、ネットが苦手、という方へのリアルのやり取りとして、紙での申込用紙と口座振込によりイベント等でも申し込んで頂ける形になっています
- ・団体の登録画面が非常に使いやすくなりました
- ・プロジェクトが目標金額に達成しなくても、支援者が望めば支援金額をそのまま振り込んで使ってもらえます 等々。 一度ご覧下さい。

## 6. 地域パートナーについて

過去の成功と失敗したプロジェクトの分析をしたところ、その差の一つにCWPメンバーとのコミュニケーションを密にとっているか、というものがありませんでした。コミュニケーション頻度が高くなった団体は、訪問出来る距離であったため顔を合わせる機会も失敗した団体より多く、その後も



図：カワサポの流域図

随時相談出来る関係性が築けたからと思われれます。対価である「ありがとうギフト」はお礼の気持ちであり、お金だけで見ると一般で売られているより高くなるため、カワサポの資金調達はあくまで寄付を募る一形態です。そのため、どうしてもお願いする、という気持ちが出てきてしんどくなります。チームでやっていて全員が達成する気持ちしているとモチベーションも保てますが、1人の人が中心の団体だとどうしてもモチベーションを維持出来なくなるように見受けられます。

その支えになるのは、やはり顔を合わせられる距離にCWPと同じような立場で動ける人・団体が必要で、その役割として『地域パートナー』も合わせて募集しています。地域の範囲は、それぞれの地で行動範囲がありますので、都道府県・市区町村単位であっても、流域であっても、ご相談の上範囲を決めていきます。

## 7. コラボレーション

先日お話した方は、環境省のカーボンオフセットの仕事の関連で、企業に商品の売り上げの一部を東北の山に寄付する、というものにも関わられていましたが、その折に企業側から地元の山で活動する団体はないのか、とよく言われたそうです。一方でその方からすると、企業から団体に寄付する場合の資金管理・運営まで行うことはメイン業務ではなく手間がかかると思われていたそうですが、カワサポを利用頂くことで協賛の仕組み、候補団体の提示、決済管理運営といった点がフォロー出来それぞれの強みが相互補完関係になるということで、是非一緒にやりましょうと話が進んでいます。

カワサポ登録団体とのコラボレーションも含まれ、AQUA SOCIAL FES お台場時のセッションとしてカワサポ団体の一つと共に流域を感じ取れる環境教育を委託実施したり、流域カフェと題し

登録団体と共にファンレイジングイベントを実施したり、上流近隣団体の間伐材を使って他団体が青空教室の道具を作るために資金を調達したりと、継続的な関係性を作ることでお互いの持っているものを活かす手段も作っていくことが出来ます。

その関係性を築く場と、ファンディング能力の向上を目指し、カワサポ団体勉強交流会も開いております。

## 8. おわりに

『カワサポ』が目指すのは、日本全国の流域を良くすることに意識的・無意識的問わず関わるNPO・企業・行政・その他団体皆様に「水辺のポータル」として使って頂き、まとまって外に向けて発信することで各個別の団体では発揮できない流域としての行動を起こす力を持ってもらい、水辺環境の改善を加速していくことです。現状そのための基本的な機能として資金調達インフラを整えています。今後さらに直販機能や団体間でのコミュニケーション機能等水辺のポータルとしての価値を上げていきたいと考えています。

クラウドファンディングという一回のプロジェクト単位のプラットフォームとしては、readyforやfavvo等いくつか有名なものがあり、実際機能、広報力の点では現時点で勝っていませんが、流域でまとめた切り口、二人三脚のサポートプラン、団体支援も含めた持続的な発展へのフォーカスといった特徴があり、広まるほどにネットワーク効果を高める仕組みだと考えています。

現在、カワサポの「団体」や「地域パートナー」募集のために全国を回っています。流域に資する団体のため、山の治水・利水の意義を含めて適正に運営してくれる林業も、新たな水質改善技術開発する企業も、減・無農薬で生物多様性も確保するような農業も、水辺に人を集める興味関心を湧かせるまちづくりも、そういったことに目を向けてもらう環境教育も。考えているより多くの事業活動が対象となってきます。利用者が増えるほど「流域」としての認知度も向上し、関わる人も増えていき、流域としての改善が加速していきます。興味を持たれた方は一度ご連絡 support@clearwaterproject.info または 052-861-2287 瀬川までご連絡ください。直接ご相談、または現地説明会を開かせて頂きます。

一般社団法人 ClearWaterProject :

<http://clearwaterproject.info/>

カワサポ : <https://www.kawa-supporters.net/>



カワサポ団体勉強交流会を、生き物を守る畑にて



ファンレイジングイベント「流域カフェ」